



双塔

2018年2月
No. 357

助祭・司祭候補者認定式にむけて

新潟教区神学生 マキシミリアノ・コルベ 岡 秀太

この度、新潟教区より助祭・司祭候補者として認定をしていただくことになりました。まず、教区管理者の菊地功大司教様をはじめ司祭団、新潟教区の皆様に心から感謝いたします。私を受け入れてくださって本当にありがとうございます。

2年前、神学校入学に際して、『司祭職への歩み』（日本カトリック神学院 2011年）というテキストを頂きました。その中で助祭・司祭候補者認定式についてこう書いてありました。認定式とは「叙階をめざして神と教会に自分をささげるとい意志を公に表明する儀式」です。さらに認定を受ける者の条件として「真の召命のしるしを示し、品行に優れ、心身の障害がなく、神の栄光と人々の霊的利益のために生涯を教会の奉仕に捧げることを望む者」とあります。（休みに新潟に戻ってくると緊張が解けて途端に怠け者になる私が品行に優れているとは到底思えません）

しかし認定式で最も重要なことは、司教様を始め教会共同体の前で自身の召命を表明する機会が与えられることだと思います。この式をさかいにして正式に教区の神学生として認められ、あわせて「神の意志に無条件で従うことができるために必要な霊的助けを受ける権利」を神学生は有します。簡単に言うと認定式は、教会へ助けを求める儀式であると思います。司祭への道程には神の同伴と導き、さらに私の場合、新潟教区信徒によってなされるキリストへの嘆願がどうしても必要となります。神学生に物品の支援は必要ありません。祈りによる支えこそ必要であることを実感しています。

幸いなことに今、私はよい仲間、よい先輩に恵まれています。笑わずに過ごす日は一日もありません。これらすべては神さまから頂いたものです。皆様の祈りの実りです。少なくとも私は、この喜びなしに神学院生活をつづけることができません。そして私たち神学生は喜びと同時に、誘惑と苦しみ、家族との離別も例外なく経験します。これらは必要です。このような苦しみは当然、避けたいのですが、それを体験せずに司祭になることはできないと思います。イエスもこの苦しみを経験されたのですから、私達も逃れることはできません。これらを正しく受け止める知恵と勇気が全ての神学生に与えられるようにお祈りください。

最後に、青年たちに書きたいと思います。若者にこの声が届けば幸いです。この文章を読んでもう読めば幸いです。イエスと仲良くなってください。イエスはあなたと親しく話すことを望まれています。イエスが望まれているものはあなたのまごころからの応答だけです。心を静かにして小さなささやきに注意してください。イエスはあなたを呼ばれてはいませんか？イエスは優秀な人、素晴らしい人を選ぶのではなく、これと思う人にある日、突然、お声をかけられることがあります。能力や才能は問題ではありません。イエスはあなたを呼ばれていませんか？

■ 主の降誕 ---- 12月24日(日)・25日(月) ----



12月24日の夜半のミサ。「此処の主任司祭になって5年目、クリスマスも5回目になるが、この時間のミサで説教台に立つのは初めてです。今まで説教をしてくださった司教様が転任になり、私が説教をすることになったが、人が違うし頭の中身も違うし、司教様のようないいお話はできません。お許してください」。そう前置きして、ラウル神父様は説教を始めた。「キリスト者よ、あなたに与えられた優れた身分をわきまなさい」という聖レオ一世教皇の言葉を引いて、主の降誕という出来事を通して、神がどれほど私たち一人ひとりを大切にしてくだ

さっているか、その思いを示してくださった、と語られた。

翌25日のミサ後にはセンター2階ホールで祝賀会。ヨーロッパでの研修を終えたロレンゾ神父様はギター弾き語りを披露。またローマのお土産を景品として提供して下さり、くじ引き大会も大いに盛り上がった。

■ クリスマス飾りの撤去と構内除雪作業 ---- 1月14日(日)9:30ミサ後 ----

典礼の暦が年間に入ったことから、この日にクリスマス飾りの撤去が予定されていたが、折から8年ぶりの大雪となったため、聖堂敷地内の除雪作業も行われることになり、作業は二手に分かれて行われた。センター中央と談話室側の玄関の軒には雪庇がせり出して落下の危険もあったため、青年たちが2階の窓から屋根に出て雪下ろし作業も行った。



■ キリスト教一致祈祷週間

---- 1月18日(木)10:30、21日(日)14:00、23日(火)10:30 ----

大雪の影響からか、参加者の出足は多くはなかったようである。

講座「知ってるつもり?! 典礼のしるし、ことば、動作」

指 導 主任司祭 ラウル神父

開催日時 2018年2月10日(土)午前10時~11時

会 場 カトリックセンター研究室

※ 事前に準備するものではありません。どなたでもお気軽にご参加ください・

さい。

カトリック新潟教会 月刊「双塔」 毎月1回 最終日曜日発行 編集・発行/カトリック新潟教会 教会運営委員会 広報部

〒951-8106 新潟市中央区東大畑通一番町656 TEL:025-222-5024 FAX:025-222-5054